

2012年度総会議案	
議案 1	2012年度全国壮年会連合役員の内
議案 2	2011年度全国壮年会連合活動報告の内
議案 3	2011年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告の内
議案 4	2011年度全国壮年会連合会計(一般会計、奨学金会計)決算報告、監査報告の内
議案 5	2013年度神学校献金目標額について
議案 6	2012-13年度全国壮年会連合活動計画案の内 (ワーキンググループ答申『今後の全国壮年会連合活動について』を踏まえて)
議案 7	2012-13年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案の内
議案 8	2012年度全国壮年会連合一般会計修正予算案 及び2013年度全国壮年会連合一般会計予算案の内
議案 9	2012年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案 及び2013年度全国壮年会連合奨学金会計予算案の内
議案 10	連立立等神学校奨学金制度創設の内
議案 11	全国壮年会連合規約 細則改定に関する件(選挙管理委員会関連追加)
議案 12	全国壮年会連合事務所職員規程に関する件(事務所職員就業内容等変更)
議案 13	奨学金委員長選挙の内
議案 14	全国壮年会連合監査選挙の内
議案 15	2014年度、2015年度 全国壮年会開催担当地方連合の内
議案 16	2013年度総会議長の件 議案 11が承認された場合
議案 17	その他

会議報告(開催日時順)	
<p>第1回奨学金委員会</p> <p>➢ 開催日: 4月7日(土)(於連盟会議室) 出席: 奨学金委員 陪席: 事務局員</p> <p>議事に先立ち以下の件について意見交換を行った。</p> <p>ワーキングチームからの答申に対する奨学金委員会としての対応 奨学金制度の運営を委託されてから10年の節目を迎えてきちんと働きを評価し、提案された事項に真摯に取り組むことが確認された。(ワーキングチームからの提案及び対応については総会資料参照)</p> <p>連立立等神学校奨学金制度創設についての意見と考え方の整合 東京・九州両バプテスト神学校の神学生に奨学金を貸与することについて連盟理事会では諸課題を整理し実現を目指す意向を示した。その第一段として本委員会では経緯、必要性、制度内容等について鳥飼委員(理事)から説明を受け意見交換を行った。委員としての率直な感想、意見を交換しその必要性について一致。</p> <p><審議内容概略></p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2012年度奨学金貸与者数20名(含初年度貸与者5名)であることを確認。 ➢ 西南学院大学神学部から以下の報告を受け確認 2011年度卒業生数(除学内進学)6名(含昨年卒業後待機中1名) うち連盟関連 4名 2012年度神学専攻科及び神学コース3年次編入者 6名 	
<p>第1回役員会</p> <p>➢ 開催日: 4月15日(土)(於連盟会議室)</p> <p>出席: 役員・監査・野口前会計 陪席: 鳥飼理事、事務局員</p> <p><審議内容></p> <p>議事に先立ち、新役員を紹介と、新年度取り組み方針の説明を受け、共有した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2011年度一般会計報告について説明をうける。 ➢ 連立立等神学校奨学金制度創設に関して、鳥飼理事より、これまでの経緯と本制度の意義と期待されること等について説明を受け意見交換。方向性について賛同が得られ、支給条件項目を明確にして代表者等会議で賛同を得たうえで総会へ提案することを確認 ➢ 「今後の全国壮年会連合活動について」WGからの答申を前役員会より引継ぎ、各課題に対する提案について、取り組む方向性や具体策について意見を交わし共有した。(以下5ページに続きます) 	

日本バプテスト連盟全国壮年会連合 〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4
事務局執務時間: 月、水、金 10:00 ~ 16:00
・fax: 048-886-7533 http://www.sonnen.net sonnen@bapren.jp
郵便振替 00150-7-669605 「日本バプテスト連盟 全国壮年会連合事務局」

<p>全国壮年会連合</p> <p>ニュース</p> 	<p>2012年7月6日</p> <p>No. 72</p> <p>日本バプテスト連盟全国壮年会連合 発行人 大城戸一彦 編集人 井伊 肇 Topics password sorengo</p>
--	--



第47回全国壮年大会に期待すること

大会実行委員長 河合 昇(岐阜教会)

昨年2月、全国壮年会大会IN名古屋 第一回実行委員会を名古屋バプテスト教会で開催し、今年6月で14回目の話し合いを積み重ねて来ました。私たち中部地方連合壮年会は、今から12年前に岐阜羽島において、当時の連盟の方針に沿って全国壮年会連合の推進を担っていた関係もあって、「伝道者の育成」具体的には西南学院大学の神学部で学ぶ神学生の奨学金の関わり方をめぐって、大きな節目のときでもありました。伝道者育成の課題は、私たち壮年ひとり一人が担う問題として理解する大変良い機会でもありました。

あれから12年、集まった実行委員たちの顔触れも多少の変動はあるものの其の中心メンバーは当時とあまり変わりません。大きく変わったことと云えば4名の牧師先生たちが若くてこれからの連合の活動と壮年の働きに、大きな変革を期待できることだと思っています。

少子高齢化と政治の停滞、そして昨年3.11東日本大震災等、先行き不透明の時代背景にあって、今こそ教会がこの困難さの中で「地の塩」として立つべき時だと思われております。

さて、大会まであと2カ月をきるところとなりました。

今回の大会の特長三つあげることが出来ます。

その1、大会講師を私達の連合内から選んだこと、しかも連盟の前理事長である田口昭典師(金沢バプテスト教会)は諸般に精通しておられること。

その2、夜の部では西南学院大学の神学部で長年に亘り伝道者の育成に関わられた小林洋一先生(今年4月退任、名誉教授)そして青野太潮先生(来年退任予定、教授)のお二人に旧・新約学の立場から伝道者養成をどのように指導をされたのか、そして、これから教会と神学部とがどのような連携をしようのか語り合いの時にしたい。

その3、多くの神学生6名を招待し6教会で受け入れ、出会いと交流を通してお互いに知り合う機会としたい。

中部地方連合に連なる13の教会と二つの伝道所に、二つの課題を。その一つ、献身者は、福音に生き活きと生きる教会で育まれる。まず「元気を出そうよ」そして二つ目、壮年会、女性会、青年会、全年齢層の課題であることを共有したい思いから特に8月24日(金)に、より多い参加を呼び掛けております。

**全国のみなさまへ
壮年に限らず、日本の真ん中「名古屋にいらあ~せ」
何か起きるぜ”
「まってま~ず”**

第47回大会参加費は一人【壮年3,500円】【壮年以外無料】です。謹んで訂正します。





ドイツパンの販売で神学校献金 ～ 北大阪教会壮年会の取り組み

全国壮年会連合神学校献金推進委員
関西地方連合神学校献金推進委員
北大阪キリスト教会員 酒井 俊一

北大阪キリスト教会では、毎年6月の神学校週間だけでなく1年間を通じて献金を献げていく事が大切と考え推進していますが、その事により教会の中で神学校の働きについて理解が定着してきました。これからも神学校献金のためにいろいろな取り組みを行なっていきたいと思います。

関西地方連合壮年会も2001年よりいろいろの取り組みを行なっていますが、10年間の取り組みのなかで、特に特製しおりの販売や、御言葉入りの額など全国壮年大会でも販売しましたが、昨年よりシュトーレン(*)の販売に力を入れております。神学校週間、全国壮年大会、関西地方連合壮年会総会などの集会で積極的にアピール行なって、昨年度約150本を販売させていただきました。

*シュトーレンはドイツを代表する菓子パンであり、欧州の菓子パンの5本の指にはいると言われております。

これまで買って食べていただいた方々からは、とってもおいしい、街のケーキ屋さんのもとは一味違うと大変好評で、今回この全国壮年会連合ニュースで神学校献金推進活動のひとつとしてご紹介させていただくことになりました。私は以前パンの製造にかかわったこともあり、シュトーレンを作ることは神様から与えられた賜物を活かすことと感謝して楽しんで奉仕しています。今年は200本～250本を目標にして頑張っていますし、8月名古屋での全国壮年大会でも販売を予定しています。

2005年度以来昨年度まで、神学校献金目標額として3000万円を掲げて献金を推進してきましたが、なかなか目標達成には至っていません。現在そして将来的にも毎年25名の献身者を支えていくためには3000万円が必要です。目標額が達成されるように全国の壮年が共に祈るとともに、いろいろなアイデアで神学生支援の働きが更に推進されていくことを願っております。

パンの販売利益は神学校献金としてささげられます。購入をご希望の方は全国どこにでもお届けします。

- 1セット(5本) 送料込み3,500円で、1セットから全国どこへでも送ります。
- 発注後2週間ほどでお手元に届きます。消費期限は2～3週間です。(出荷時シールに明記)
- 注文先は、電話・FAX 072-882-3002 (大阪府門真市上島町18-2-604 酒井俊一)



「神の慈しみと厳しさ」

「神の慈しみと厳しさを考えなさい。倒れた者たちに対しては厳しさがあり、神の慈しみにとどまるかぎり、あなたに対しては慈しみがあるのです」(ローマ11:22)

西南学院大学大学院 博士後期課程2年
推薦教会: 福岡国際キリスト教会、研修教会: 香住ヶ丘バプテスト教会
柏本 隆宏

私は、2009年4月より今年の3月末まで、福岡国際キリスト教会で副牧師として奉仕させていただきました。「壮年会連合ニュース」でも祈りの課題として覚えていただき、全国の教会・伝道所の皆さまに心よりお礼を申し上げます。在任中、私は、教会の働きのために誠心誠意出来る限りを尽くしてきました。しかし、今年初めに体調を崩し、療養が必要となり、副牧師を辞任致しました。辞任直前、私は福岡地方連合の牧会主事の伊藤隆夫先生に相談に行きました。その時、4月以降の出席教会として香住ヶ丘バプテスト教会をご紹介いただきました。4月1日の礼拝後、堀内明牧師にもご挨拶をしました。先生は「とにかく今は何も考えず、礼拝にいらして下さい。教会の交わりの中でリフレッシュして下さい」と言って下さいました。転会後暫くして、堀内先生から「子どもメッセージの奉仕者に加わってくれないか」と言われました。また、伊藤先生から「無牧師の教会に説教者として応援に行ってください」というお話をいただきました。香住ヶ丘教会の兄弟姉妹から、伝道委員会や教会学校で奉仕をお願いされることがありました。私は、教会で職責を全う出来なかったという挫折感と自責の念に苛まれる日々を送っていました。そのため、開口一番出てきたのは「私には自信がありません」という言葉でした。しかし、奉仕の機会を与えていただいたことに励まされもしました。

一方、私を説教者として招いて下さった或る教会では、無牧師の中で兄弟姉妹が毎週必死に礼拝を守っておられました。高齢化が進み、若者が大都市に出ていく中で、伝道や教会形成に取り組みされている地方教会の苦闘に目を開かされると共に、兄弟姉妹の信仰に心を燃やされるものがありました。

香住ヶ丘教会やその無牧師の教会における交わりを、神に感謝します。倒された者に手を差し伸べて下さった神の慈しみに感謝します。神が私をこれからどのように用いて下さるかは分かりません。しかし、神が与えて下さる働き、遣わされる場において、神と人に仕えていきたいと願っています。



『私の受けた恵みの履歴』 松山西キリスト教会 立田卓也

振り返るにはまだまだ未熟な、おぼつかない足取りですが、告白します。学生時代から子供と関わることをひそかな夢として描き、つれあいと共に、お話しボランティアに携わる中で、愛媛で長年人形劇活動をしていた先代「人形芝居ぶか」と出会いました。ところが、頂いた1枚の葉書を電話機の脇に貼りつけたまま、以降も一切関わりはなく、それから6年後の夏、教会での再会を機に、その次の年の春には先代夫婦の牧師への献身と入替わりで、私達家族の人形劇での生業が始まったのでした。

周囲の心配をよそに、ぶかの人形劇のテーマは「愛」と言い切る先代の言葉に、私はこれは備えられた道だと信じました。残してくれた作品群を真似ることからスタートして、早4年。只今は、この道を行って行くその歩み方を、私達個々のオリジナリティに委ねられつつあります。ここに私の弱さがあります。備えられた道でありながら、それを歩むのは私の意志。分かっているようで分かっていない“自分”というものの全て(作品作りや表現はもちろん、生活スタイルから時間の管理までも含めて)をかけて産みだしていく作業は、甘くもなり厳しくもなりで、地道です。また、生活と創作の場として与えられたのが、先代がそれまで拠点としていた、過疎地といっても過言ではない里山。その中で野菜を作りながら、田からモノ;宝物 創作活動をする先代のスタイルや、土に触れられる田舎暮らしも憧れでした。神様の創造物に囲まれ、季節ごとに新たなそれらの発見を目にすることも創作活動の大きな糧です。そして、子供たちを相手にする中で、私も自身の子供時代に返って考える事が多く、私にとってクリエーションとは、私の受けてきた、今も受けている数々の愛のRe・クリエーションの作業であること。また、笑い声と笑顔で何が面白くて嬉しいのかを教えてくれる彼らの素直な感情の発露に、演じる私たちの方が驚かされ、うらやましさを覚ええます。どこを切り取っても御言葉どおりと気付くことの多い、今の私達の生活です。

このコーナーでは、2回シリーズで賜物を活かす壮年の証を掲載します。どうぞご紹介ください(編集人)

相模中央キリスト教会壮年会(神奈川県地方連合)の活動紹介 <取材>

神奈川県地方連合で最も壮年会員が多い教会が相模中央キリスト教会で壮年の現在会員は38名。毎月第4主日に例会が開かれており、毎回15人～20人が集まります。取材に訪れた日も写真のように17名の方が集まっておられ、諸活動の計画・相談や相互の近況報告情報交換とともに、バプテスト誌を教材にした学びの時間を持っておられました。(本年1月号の「バプテストの信徒を生きる-仕事と教会」)

壮年会長は、昨年に続き今年も小野武さんです。小野さんは一人息子の小野祐基さん(現在、西南学院大学院神学部前期博士課程1年)がバプテストを受けてからその後祐基さんの祈りに導かれご夫婦でバプテストを受けられたという経歴の方ですが、

いまや壮年会を先頭で引っ張る牽引車です。小野さんの提言で、昨年から積極的に全国壮年会連合や神奈川県バプテスト連合壮年会の集まりに参画していくことが活動項目の目玉になっており、昨年の壮年大会の実行委員会でも会場委員会等で大活躍されました。

また教会の災害対策委員会と連携を取って、積極的に東北被災地支援にも関わっておられます。月例会の他には、年に3～4回「親爺の会」なるものが開かれています。これは新来者の歓迎とか壮年会員の送別に加えて会員相互の懇親を目的として、教会の中で開いたり

§

あっという間に売り切れという名物料理だそうです。このカレーとおでん・焼きそばの売り上げが神学校献金の一部になっていることは言うまでもありません。もう一つの「ピンゴ」は、クリスマスの午後の祝会の時に壮年会が資金拠出、商品仕入れ、当日の運営まで全て壮年会の責任で行われます。このピンゴは、クリスマス祝会のフィナーレを飾る一大イベントとなっていると胸をはっておられました。

今年度は神奈川県連合壮年会の会長を川勝さんが、神学校献金推進委員を池見さんが担っておられ、文字通り神奈川県連合の壮年会活動の推進役として大いに活躍が期待されています。～6月24日取材、取材記者:豊永義典(川崎教会)

相模中央教会壮年会から提供していただいた他の写真は、増6ページに掲載してあります。このコーナーでは各教会壮年会の活動を取材記者の目を通して紹介していきます。(編集人)



§ 外の居酒屋さんでやることもあるそうです。教会内の場合はカセットコンロと土鍋5セットくらいを持ち込んでの鍋パーティーが定番のようです。

相模中央教会の中で壮年会と言えば「カレーとおでん・焼きそばとピンゴ」。毎月第1週と第3週は必ず壮年会が昼食を作っており、レパートリーは豊富だけど約70%くらいは「カレー」のようでこのカレーが大好評と自画自賛。味がいいこと、大盛り・お代わりOKで350円ということが好評の理由だと教えてくれました。「おでん・焼きそば」は春と秋のバザーで壮年会がおでんを担当し、毎回100食分作ってもこれが

(以下「壮年会連合ニュースNo.72号」4ページから続きます)

- 2012-2013 年度活動計画について、WGの答申も踏まえ意見交換と確認
- 昨年の総会で承認された「選挙管理制度改定」の方向性に沿って明文化を審議、確認
- 5月の神学校献金推進委員会議と地方連合代表者等会議の進め方について確認

神学校献金推進委員会議

- 開催日：5月18日(金) (於連盟会議室)
- 出席：地方連合神学校献金推進委員、地方連合会長、新旧役員・監査 陪席：鳥飼理事、事務局員

<意見交換内容概略>

- 出席者自己紹介を兼ねて、地方連合内での神学校推進活動について紹介し、課題を共有
- 2011年度この会議で、神学校献金推進活動にとって2010年度西南学院大学神学部入学生に関するバプテスマ問題の影響が懸念されることにより、役員会は西南学院大学神学部と連盟に対し問題を伝えるべく文書を発信することを約束したが、履行されていないことが席上明らかにされた。現役員会として真摯に受けとめ、今後もこの影響が続くことを避けたいことから文書を発信することを約束した。(6/26付で発信)

地方連合代表者等会議

- 開催日：5月19日(土) (於連盟会議室)
- 出席：地方連合会長、神学校献金推進委員、新旧役員・監査 陪席：野口宣教部長、鳥飼理事、事務局員

<審議事項概略>

- 連立立等神学校奨学金制度創設についての説明と意見交換
経緯、必要性、制度内容等について鳥飼委員(理事)から説明を受け、意見交換を行った。特に今まで、神学校献金の目的は「退路を断って伝道者となるべく献身した西南学院大学神学部の神学生」に対する奨学金のためであることを訴え、献金を募って来たのでその対象が東バプ・九バプの神学生にまで拡大することに戸惑いがあるとの意見が出された。また、神学校献金の使途が両神学校運営のために用いられるとの誤解を生むことも懸念されるため、Q&Aを作成し壮年会員の理解を得るように努め、本年度総会に提案することとなった。
- 本年度総会議案に対する意見の確認
新旧役員・監査、奨学金委員会から総会議案について説明。一部齟齬について指摘を受け、修正のうえ総会に提案することとなった。
第47回総会(担当：中部)と第48回(担当：福岡)について内容と準備状況についてそれぞれの担当地方連合から説明を受けた。また、合わせて九州地方連合壮年大会(9月開催)について紹介があった。

第1回連盟理事会 <陪席>

- 開催日：6月5日(火)~7日(木) (於連盟会議室)

<陪席のため関連する事項のみ報告>

- 奨学金委員会活動報告の実施
2011年度結果として返還滞り者のフォロー状況、2011年度奨学金貸与者の実績、貸与奨学金返還状況を中心に報告。(詳細は第1回連盟理事会記録または全国壮年会連合総会議案書「2011年度奨学金委員会活動報告」参照)
- 連立立等神学校奨学金制度創設の説明(鳥飼理事実施)
前記全国壮年会連合各会議での意見交換をもとに内容と連盟総会に向けてのスケジュール等を説明。第1段階として全国壮年会連合総会での審議を見据え、早急に「連立立等神学校奨学金制度検討委員会」にて詳細を検討することとなった。



相模中央教会壮年会の皆様

PHOTO



酒井さんのシュトーレン



人形劇を演じる立田さん



代表者会議(5月19日)